

# 平成19年生駒市教育委員会第11回定例会会議録

1 日 時 平成19年11月27日(火) 午前10時

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

- (1) 平成20年度市立幼稚園児の募集状況について
- (2) 平成18年度決算報告について
- (3) 平成19年生駒市議会第5回(12月)定例会提出議案の意見について

4 出席委員

委員長	中井公人	委員(委員長職務代理者)	中田和子
委員	村田浩子	教育長	早川英雄

5 欠席委員 なし

6 事務局職員出席者

教育総務部長	中田好昭	生涯学習部長	長田二郎
教育総務課長	峯島 妙	教育指導課長	西井久之
人権教育課長	宿賀 忍	学校給食センター所長	奥谷茂治
生涯学習振興課長	奥村直幸	女性青少年課長	細川隆庸
中央公民館長	松本裕孝	芸術会館長	行元政樹
南コミュニティセンター館長	上埜秀樹	北コミュニティセンター館長	奥田 好
体育振興課長	中井 宏	教育総務課長補佐	辻中伸弘
教育指導課長補佐	井上 廣	人権教育課長補佐	生駒芳弘
生涯学習振興課長補佐	西野 敦	女性青少年課長補佐	吉岡秀高
図書会館副会館長	辻中 昇	書記	楠下崇子
書記	村田充弘		

7 傍聴者 なし

午前10時開会

○中井委員長：ただいまから平成19年生駒市教育委員会第11回定例会を開催いたします。

~~~~~

○中井委員長：日程第1、前回会議録の承認を議題といたします。  
会議録につきましては、別紙のとおり調製しておりますが、いかがでございますか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認め、別紙のとおり調製することに決定いたしました。ご署名をお願いいたします。

《 署名 》

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第2、本日の定例会の会期及び会議時間の決定を議題といたします。

私から本日の定例会の会期は本日一日とし、会議時間を本日午前10時から午後5時までとすることを提案いたしますが、いかがでございますか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認め、第11回定例会の会期は本日一日とし、会議時間を午前10時から午後5時までとすることに決定いたしました。

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第3、諸般報告ですが、来月の行事予定について、各部庶務担当課長から報告を受けます。教育総務部について、教育総務課、峯島課長、お願いいたします。

《 峯島課長 報告 》

○中井委員長：生涯学習部について、生涯学習振興課、奥村課長、お願いいたします。

《 奥村課長 報告 》

○中井委員長：続きまして、市立小学校常勤講師採用候補者選考試験の募集状況について、教育総務課、峯島課長から報告を受けます。

○峯島課長：11月18日(日)に実施いたしました、市立小学校常勤講師採用候補者選考試験の募集状況についてご報告いたします。募集人数12人程度に対し58名の方が

申し込みをされ、当日、43名が受験し、競争倍率は3.58倍となりました。申込者の内訳は、男16名、女42名、市内25名、市外33名となっており、論文等筆記試験と模擬面接を含む面接試験を実施しました。

○中井委員長：続きまして、博報賞の受賞について、教育指導課、西井課長から報告を受けます。

○西井課長：生駒小学校にある「ことばの教室」「通級指導教室」が、発達障害のある児童を就学前より指導し、小学校の通級指導と連携させた地域の先駆的取組として、博報賞の特別支援教育部門を受賞いたしました。

博報賞とは財団法人博報児童教育振興会が主催し、小中学生の教育に尽力した学校や団体等を表彰するもので、今年度は4部門24件の個人及び団体が受賞いたしました。生駒市独自施策として昭和61年からの取組が評価されたものと考えております。

○中井委員長：続きまして、全日本小学生バンドフェスティバルについて、教育指導課、西井課長から報告を受けます。

○西井課長：11月17日に大阪城ホールで開かれた全日本小学生バンドフェスティバルに、関西地区代表として本市から桜ヶ丘小学校、俵口小学校の2校が出場しました。各地区から選出された代表35校が参加するなか、桜ヶ丘小学校は最高賞となる金賞を受賞しました。

前回報告いたしました、生駒中学校に続く吉報であり、校区の小中学校の同時受賞となります。なお、俵口小学校も銀賞を受賞しております。

○中井委員長：続きまして、平成19年度全国学力・学習状況調査の結果について、教育指導課、西井課長から報告を受けます。

○西井課長：小学校6年生、中学校3年生を対象に本年4月24日（火）に実施された全国学力・学習状況調査結果について報告いたします。

義務教育の成果や課題の検証、教育指導等の改善を図る機会の提供等を目的に実施された全国学力・学習状況調査の結果が10月24日に教育委員会・学校に届けられ、個人票については学校を通じて生徒に返却したところです。市の結果については、国や県の平均正答率に比べ大きく上回っている状況です。特に、全国的に課題とされている「活用」に関する問題の正答率は国や県に比べて高い傾向が見られます。今後、調査結果を詳細に検討し学校改善に役立てたいと考えております。

なお、調査主体の文部科学省が「序列化や過度の競争をあおらないように配慮」を求めており、平均値等数値を公表しないことで進めたいと思っておりますのでご了承お願いいたします。

○中井委員長：わかりました。単なる調査で終わるのではなく、今後、この結果をどのように活用していくかが最大の課題だと思っておりますので、よろしく申し上げます。

続きまして、平成19年度体力調査結果について、教育指導課、西井課長から報告を受けます。

○西井課長：データ数が多い小学校6年を例にとりますと、50m走は国・県と同等あるいは上回っていますが、握力、上体おこし、ボール投げなど上肢の力が弱い状況です。

校長会・教頭会を通じて、体育時の運動量の確保や運動体験を増やすことに取り組むよう指示しておりますが、学力の1つである体力の状況は今後の課題と考えています。

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第4、報告第22号「平成20年度市立幼稚園児の募集状況について」を議題といたします。教育総務課、峯島課長から報告を受けます。

○峯島課長：ただいま議題となっております、日程第4、報告第22号「平成20年度市立幼稚園児の募集状況について」ご報告いたします。

本案につきましては、来年度の市立幼稚園入園希望者の申込みについて結果がまとまりましたので、生駒市教育委員会の権限に属する事務の一部委任及び臨時代理に関する規則第5条第5号の規定によりまして、教育委員会に報告いたすものでございます。

4歳児、5歳児につきましては従来から全員受入れを行っておりますが、20年度の募集にあたっては、3歳児保育の抽選漏れによる保護者の不公平感を払拭し、就学前教育の充実を図るため、「子どもたちの確かな学力育成のための検討委員会」の提言に基づき、3歳児の待機幼児解消にも取り組んでおります。

内容といたしましては、保育室の増設を要しない5園、具体的には高山、南、生駒、俵口、あすか野の各幼稚園で3歳児を全員受入れ、増設工事の必要な、なばた、生駒台、桜ヶ丘、壱分の4幼稚園では、受け入れられる定員が2クラスの50人であることを保護者の方々にご理解をいただき、募集を実施いたしました。

募集の結果、生駒台幼稚園で定員50人のところ98人の申込みがあり、48人が抽選による待機児童となりましたが、残る8園すべてで希望者全員を受入れることができ、生駒台幼稚園以外では待機児童がいませんでした。その結果、128人の待機解消ができ、5学級が増加いたしました。

ただし、これは、あくまでも10月29日の申込締切日直後の状況でございまして、今後の申込状況によっては、50人の定員を超える園もありますので、その場合は、今後の園児数推計から来年度に増設工事を行い、21年度からの全員受入れにむけ、環境整備に努めていきたいと考えております。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○中井委員長：ただいまご報告いただきましたが、皆様から何か質問等ございませんか。

《 質疑なし 》

○中井委員長：それでは、本案につきましては、報告のとおり承認いたすことにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認めます。よって日程第4、報告第22号「平成20年度市立幼稚園児の募集状況について」は、報告のとおり承認いたすことに決しました。

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第5、報告第23号「平成18年度決算報告について」を議題といたします。各部長から説明をお願いします。

○中田部長：それではただいま議題となっております日程第5、報告第23号「平成18年度決算報告について」ご説明申し上げます。決算書をご参照願います。

平成18年度の決算につきましては、去る11月5日、6日の両日にわたり、市議会の決算審査特別委員会におきまして慎重審議を賜ったところでございまして、12月定例市議会で審査願うことになっております。生駒市教育委員会の権限に属する事務の一部委任及び臨時代理に関する規則第5条第5号の規定によりまして、教育委員会に報告いたすものでございます。

まず、一般会計では、歳入総額29,705,093,673円、歳出総額29,007,225,505円、歳入歳出差引残額697,868,168円となっており、うち歳出の教育費にかかりますものは、4,294,187,420円でございます。

それでは、歳出について、私から教育総務部の所管分につきまして、ご説明申し上げ、その後、生涯学習部の所管分について、長田部長からご説明申し上げますのでよろしくお願いいたします。

147ページをお願いいたします。147ページから150ページにかけての項1、教育総務費につきましては、教育委員会の運営や事務局職員の人件費のほか、「子どもたちの確かな学力育成のための検討委員会」を設置し、少人数教育などを検討するとともに、小学校新1年生を対象とした「隣接校選択制」や「スクールボランティアプログラム」を実施しました。

また、児童生徒や保護者、教員を対象にした臨床心理士等による「特別支援教育相談」、適応指導教室に通う不登校児童生徒が学校生活に復帰できるよう「学生ボランティア」を活用するなど、支援体制の強化に努めました。

さらに、小学校には「子どもと親の相談員」や、スクールカウンセラーによる巡回を、中学校には臨床心理士による「スクールカウンセラー」を配置、また、「地域ぐるみ健全育成推進事業」を実施するなど、心の教育活動への取組みを実施いたしました。

次に、150ページから153ページにかけての項2、小学校費につきましては、小学校12校の管理運営費のほか、施設の維持管理及び教育振興に要した経費で、主な事業といたしましては、地域社会との連携を図り、開かれた学校づくりを進める「学校創造推進事業」、四季折々の草花や生きものを子供たちが育てる「花と緑と生きものがいっぱい

の学校づくり」や、本との出会いにより感動や思いやりの心を育むための「読書活動推進事業」などを実施しました。

また、安全で安心な学校づくりを観点に、全小学校に「カメラ付インターホン」の設置や、盗難による個人情報の漏えいを防ぐための「機械警備」を導入するとともに、生駒小学校南館の耐震補強工事や小学校4校の耐震診断を行いました。

さらに、情報教育関連では、奈良先端大における最先端技術の体験学習や、同大学の学生のアシスタントによる授業の実施、さらに、パソコン機器の充実や校内LANの整備など、情報教育の充実に努めました。

続きまして、153 ページから 155 ページにかけての項3、中学校費につきましては、中学校8校の管理運営のほか、施設の管理や整備、教育振興に要した経費で、主な事業といたしましては、「学校創造推進事業」や「花と緑と生きものがいっぱいの学校づくり」を実施するとともに、心身ともに調和のとれた健全な育成を図るために健康増進事業を実施した学校への補助や、クラブ活動で全国大会等に出場した生徒の保護者の負担軽減のための補助金を交付いたしました。

情報教育関連では、情報活用能力を育成するため、機器の購入を行い、情報教育環境の充実を図りました。また、外国青年2名の英語指導助手を各校に派遣するとともに、幼稚園、小学校からの要請にも対応し、国際理解教育の推進に努めました。さらに、小学校同様、安全安心な学校づくりを行うため、生駒中学校校舎の改築設計を行うとともに、生駒南中学校と生駒北中学校の耐震診断を行いました。

続きまして、155 ページから 157 ページにかけての項4、幼稚園費につきましては、幼稚園9園の管理運営費や施設の管理整備費のほか、私立幼稚園等助成費など、幼児教育の振興に要する経費で、主な施策としましては、「学校創造推進事業」を実施したほか、幼稚園から小学校へ子どもの生活や学習が円滑に移行できるよう、生駒台幼稚園と生駒台小学校で、幼小連携事業を引き続き実施しました。

また、障害児教育の充実のため、4、5歳児に講師を加配するとともに、園児数の増加に伴い、保育室が不足している壱分幼稚園の増築工事を行い、教育環境の整備に努めました。

次に、163 ページから 164 ページにかけての項5、社会教育費、目4、人権教育推進費につきましては、あらゆる差別の解消を目指して、人権教育講座や識字学級、地区別懇談会、さらに、「こどもじんけんひろば」などを開催し、人権問題に対する正しい理解と認識を培うための人権教育の推進に努めた経費でございます。

次に、少し飛びまして、175 ページから 176 ページにかけての目3、学校給食センター運営費につきましては、給食センターの管理運営費や施設・設備の維持管理に要した経費で、「給食センター運営協議会」、「給食主任者会議」の開催や魅力ある給食にするための学校訪問、保護者等を対象とした給食センターの視察や試食会の実施、さらに栄養士を派遣し、食に関する教育活動の支援等も行っております。また、市民公募委員2名を含む、「学校給食検討委員会」を設置し、学校給食のあり方について調査・検討をいただきました。

続きまして、176 ページの目 4、学校給食材料費につきましては、新鮮でかつ栄養豊富な食材を選定し、献立の質の向上や調理の工夫・改善に取り組み、安全でおいしく、楽しい給食の実施に努めた経費でございます。

最後に、不用額についてでございますが、147 ページの項 1、教育総務費、目 1、教育委員会費の不用額は、給与や共済費などの人件費で、退職などによるものでございます。

次に、項 2、小学校費、項 3、中学校費、項 4、幼稚園費の不用額の主なものは、需用費では省エネルギー運動をすべての校種で推進し、電気、水道等の光熱水費の節約に努めたことや、工事請負や備品購入時の入札執行残によるものです。

また、小学校費の賃金では、臨時講師数が当初見込みを下回ったことや、幼稚園費の「負担金補助及び交付金」では、「私立幼稚園就園奨励費補助金」の対象区分が変更されたことにより、交付額が当初予定を下回ったことなどによるものです。

以上で、教育総務部の所管分につきましての説明とさせていただきます。ご審査のほど、よろしく願いいたします。

○中井委員長：続きまして、生涯学習部の所管分について、生涯学習部長田部長よろしく申し上げます。

○長田部長：生涯学習部所管の費目につきましてご説明を申し上げます。

決算書の 157 ページから 159 ページをお願いいたします。まず、項 5、社会教育費、目 1、社会教育総務費でございます。この費目は、主に生涯学習部全体に係ります経費、生涯学習の推進及び男女共同参画施策に係ります事業の執行に要した経費でございます。主な事業といたしましては、生涯学習ボランティア養成講座、子ども読書活動を推進するためのワークショップなどを開催するとともに、「生涯学習推進基本方針」の策定をいたしました。

また、「(仮称) 男女共同参画基本条例」を考える市民スタッフ会議を設置し、条例案を検討するとともに、女性センターを拠点として、各種セミナーの開催や女性の心の相談等男女共同参画意識の高揚と女性の自立支援に努めました。

次に、159 ページから 161 ページにかけましての目 2、公民館費でございます。この費目は、公民館の管理運営費、事業費及び寿大学に要した経費が主なものでございます。各種公民館講座をはじめ、音楽会や芸能文化鑑賞会、展示会、いきいき楽習まつりを開催いたしました。

また、高齢者教育の推進として「いこま寿大学」の受入定員の増にも努め、ほぼ予定どおりの執行でございます。

次に、161 ページから 163 ページにかけましての目 3、図書会館費でございます。この費目は、会館の管理運営に係る経費でございます。図書館利用者の利便性の向上を図るために、7月から図書館本館と視聴覚室の開館時間を平日の午後 5 時から午後 8 時まで延長いたしました。

また、生駒市子ども読書活動推進計画に基づき、小学校1年生から3年生向けの読み物のブックリストの作成や絵本のブックリスト掲載本の学校等への団体貸出を開始いたしますとともに、教養講座、大学の公開講座、人形劇、おはなし会、子ども読書の日の記念行事、絵本の会などの各種事業を実施し、ほぼ予定どおりの執行となっております。

次に、少し飛びまして164ページから165ページにかけましての目5、青少年健全育成費でございます。この費目は、青少年センターの運営を始め、青少年健全育成活動事業、国際交流事業及び成人式開催に要した経費でございます。青少年健全育成の啓発及び非行防止を図るため、関係機関・団体との連携のもと、パトロール活動を展開するとともに、青少年団体のリーダー育成、指導者養成等の諸事業を行いました。

さらに、いこまっ子教室を支援し、様々な体験活動の機会や場の提供と地域の交流に努めました。また、PTA協議会に対しまして研究大会開催等の補助や共催でスタンプラリーを開催し、親子で楽しくふれあう場の提供に努めました。

次に、165ページから166ページにかけましての目6、野外活動施設費でございます。この費目は、ふれあい振興財団への委託事業が主なものでございます。青少年のキャンプ、自然観察、レクリエーションなど野外活動を通じまして、青少年の心身共に健全な育成を促す場の提供に努めました。

次に、166ページから167ページの目7、文化振興費でございます。この費目は、市民の創作、文化活動の発表の場として、第53回市民文化祭の開催、芸術文化団体の活動支援、山麓公園内万葉のみちの整備等市民の文化意識、郷土意識の向上に努めるとともに、市民団体の協力を得て「生駒のわらべうた」のCDを製作し、郷土文化の普及に努めました。

次に、167ページから168ページの目8、芸術会館費でございます。この費目は、会館の管理運営に係る経費でございまして、スケッチ、子ども絵画教室等の各種講座の開催をはじめ、市民川柳大会の実施、市民文化祭作品展や特別企画としての収蔵品展を開催し、市民の芸術文化等の高揚に努めました。

次に、168ページから169ページの目9、文化財保護費につきましてでございます。この費目は、文化財に関する調査・保護等に係る経費が主なものでございまして、古文書・埋蔵文化財の調査を実施するとともに、文化財調査報告書の作成や市内に有する文化財を保存するため、重要文化財、宝山寺獅子閣等の指定文化財への補助金の交付を行い、文化財の保護と市民の愛護意識の高揚に努めました。

次に、169ページの目10、コミュニティセンター費につきましては、生涯学習施設の拠点施設でございます。コミュニティセンターの社会福祉協議会への管理委託に係る経費でございます。

次に、169ページから171ページにかけましての目11、南コミュニティセンター費でございます。この費目は、職員の人件費及び館の管理、事業運営費、図書館南分館の運営事業等に要した経費でございます。主な事業といたしましては、小学生等とプロ奏者との共演によるコンサート、新春書き初め大会等の催しや各種講座を開催いたしました。



なお、南側駐車場の新設等整備につきましては、近隣地との協議等に時間を要し、工事着手が遅延したため、42,000,000円を平成19年度に繰越しさせていただきましたが、11月25日から、市民の皆様方にご利用いただいております。

次に、171ページから172ページにかけましての目12、北コミュニティセンター費でございます。この費目は、北コミュニティセンターの職員人件費及び館の管理、事業運営費、図書館北分館の運営事業に要した経費でございます。主な事業といたしましては、各種コンサートやクラシックを中心としたランチタイムコンサート、講座修了者によります演劇発表会や映画会等催しやの各種講座を開催いたしました。

また、先端大学との連携事業として、先端科学技術体験プログラム講座、電子図書の利用拡大に向けまして、電子図書講演会の開催などを実施しております。

また、来館者への利便性の向上のため、55台の駐車場を拡張いたしました。

次に、172ページ下段から174ページにかけましての項6、保健体育費、目1、保健体育総務費でございます。この費目は、職員の人件費、スポーツ振興審議会運営費、体育指導委員活動費及び、幼・小・中の児童生徒、教職員の各種検診に係ります経費並びに、市民を対象としたスポーツ振興事業に係る経費でございます。

主な事業といたしましては、市民体育大会、市民体育祭、ファミリースポーツの集いの開催や、体育館の無料開放等を通じまして、市民の体力・健康づくりや軽スポーツの普及啓発に努めるとともに、友達や親子のコミュニケーションづくりの場を提供いたしました。

また、小学校の中高学年を対象といたしました奈良県市町村対抗子ども駅伝競走大会にも参加し、体力低下傾向が見られる子どもたちの運動に対する意識向上と運動機会の提供に努めました。

また、スポーツを振興する団体等に助成を行い競技スポーツの技術向上や軽スポーツの普及、啓発を図りました。

最後に、174ページから175ページの目2、体育施設費でございます。この費目は、各体育施設職員の人件費と、ふれあい振興財団に委託しております体育施設維持管理運営に係る費用及び体育施設の整備工事等に要した経費でございます。

なお、委託料で約11,000,000円余りの不用額が生じておりますが、これは、ふれあい振興財団に委託しております体育施設管理運営委託料に係るもので、その他の予算につきましては、ほぼ予定どおりの執行となっております。

以上が生涯学習部に係ります説明でございます。よろしくご審査いただきますようお願い申し上げます。

○中井委員長：ただいまご説明いただきましたが、皆様から何か質問等ございませんか。

《 質疑なし 》

○中井委員長：多種多様な取り組みを行っていただき、ありがとうございます。それで

は、本案につきましては、報告のとおり承認いたすことにご異議ございませんか。

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認めます。よって、日程第5、報告第23号「平成18年度決算報告について」は、報告のとおり承認することに決しました。

~~~~~

○中井委員長：続きまして、日程第6、議案第22号「平成19年生駒市議会第5回（12月）定例会提出議案の意見について」を議題といたします。教育総務課、峯島課長から説明を受けます。

○峯島課長：それでは、日程第6、議案第22号「平成19年生駒市議会第5回（12月）定例会提出議案の意見について」ご説明いたします。

本案につきましては、12月定例会市議会に提出いたします「平成19年度生駒市一般会計補正予算」のうち教育費にかかるものについて、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第29条により、教育委員会の意見を求めるものでございます。

現在、公立幼稚園では、桜ヶ丘幼稚園を除く、8幼稚園で通園バスを運行しておりますが、来年度からは、3歳児の学級定員を20人から25人に引き上げること、また、生駒台幼稚園を除く8幼稚園で、3歳児の入園希望者を全員受け入れることに伴いまして、128名の待機幼児の解消が図られることとなりますが、同時に、通園バスの利用希望者も増加すると見込まれることから、新たに通園バス1台を購入することをお願いするべく、「款8教育費、項4幼稚園費、目1幼稚園費」の補正前の額に、3,790,000円を追加し、835,687,000円に増額補正をお願いするものでございます。

内容といたしましては、現在、運行いたしておりますバスルートの見直しを行い、あすか野幼稚園については、現行の3ルートから4ルートに、生駒台幼稚園は、2ルートから3ルートに、それぞれ運行ルートを追加し、通園バスの保護者ニーズに対応するとともに、運行の安全確保に努めてまいりたいと考えております。

なお、購入予定のバスにつきましては、新年度から生駒台幼稚園の運行ルートに配車してまいりたいと考えております。よろしくご審査のほど、お願いいたします。

○中井委員長：先日、公用のバスを一般競争入札にかけて売却するという記事を新聞やホームページで拝見しましたが、そのバスを通園バスに使うことはできなかったのですか。

○峯島課長：今回入札にかけましたバスは、大人用のバスでありまして、安全面から幼児用バスを、別途購入いたしたいと考えております。

○中井委員長：他にご質問ございませんか。

それでは、本案につきましては、原案のとおり市議会へ提出することにご異議ございませんか

《 異議なし 》

○中井委員長：ご異議なしと認めます。よって日程第6、議案第22号「平成19年生駒市議会第5回（12月）定例会提出議案の意見について」は、原案のとおりといたすことに決しました。

~~~~~

○中井委員長：案件事項は以上ですが、他に連絡事項等ございませんか。

○中田委員：去る11月20日に生駒市立鹿ノ台小学校及び上中学校において、第47回奈良県道徳教育研究大会が行われ、公開授業を見学させていただいたので、この場を借りて感想を述べさせていただきます。

私が見学させていただいたのは、上中学校の2年生2クラスで、「生命の尊重」と「勤労、社会への奉仕、公共の福祉」についての授業を見学させていただきました。

先に見学させていただいたクラスの先生は、生徒自身の考えや思いを模造紙に書かせて表現させたり、生徒に授業を振り返らせながら生徒同士で意見を交換し合う時間を設けるなど、非常に工夫された授業展開の中で、限りある命の大切さを学ばせていました。

また、別のクラスの先生は、広い視野から授業を展開し、生徒に考えさせ、気づかせる授業を行い、働くことの意義を学ばせていました。両先生とも堂々たる指導をされており、私も一緒に勉強させていただきました。

○村田委員：私も中田委員と同じく、上中学校を見学させていただきました。

公開授業の様子ですが、フレッシュマンの先生とベテランの先生がそれぞれの良さを出しながら授業を展開し、50分という限られた時間の中で生徒たちに、命の大切さ、働くことの意義を気付かせ、また、教えてみられ、たいへん印象に残る授業でした。

また、廊下にAEDが設置されており、緊急時の対応が可能な環境を整えていただいていることを嬉しく思いました。

○早川教育長：今日、教育の世界で問われている教師の資質について、日頃から授業力を高めるようにと指導しておりますが、そのような中でお褒めの言葉をいただくことはとてもありがたいことです。

教育再生会議や中央教育審議会等で、子どもの善悪の判断力、道徳的な心情、規範意識が低下しているという意見がでていいる中、今後、道徳を学校教育活動全体の中でどのように位置づけていくかが重要ですが、道徳的な判断力、実践的な態度・意欲をどう育んでいくかが問われる中で、道徳に取り組んでいる2校を評価していただいで大変嬉しく思います。

いじめや不登校が増え、それらをなくす手立てが問われる中で、私は子どもたちの自

己有用感、相手を思いやる気持ち、そして、人間として認め合い人間として支えあうことが大切であると考えておりますが、それを実践している現場を評価していただけることは、教育長として嬉しいことですし、校園長会等の場を通じて、現場の先生方にも伝え、今後の励みとさせていただきます。

○中井委員長：それでは、これにて閉会いたします。

午前 11 時 20 分 閉会